

第1号様式 (第31条関係)

不動産り災申告書

年 月 日

富津市消防長

様

申告者 住 所 _____

氏 名 _____

電話番号 _____

下記のとおり相違ありません。

記

1	り災場所	富津市			り災年月日	年 月 日				
	り災物件と申告者との関係			所有者 ・ 管理者 ・ 占有者						
2	世帯構成員	氏 名	続柄	生年月日	性 別	氏 名	続柄	生年月日	性 別	
					男 女				男 女	
					男 女				男 女	
					男 女				男 女	
3	建 築 ・ 購 入 年 月		記 録 ・ 推 定		年 月					
	建 築 又 は 購 入 金 額		記 録 ・ 推 定		3.3㎡当たりの金額 (円)		円			
			記 録 ・ 推 定		総 金 額 (円)		円			
取 得 後 の 経 過										
4	修繕・改築	修繕・改築年月	修繕・改築した箇所				修繕・改築の金額 (円)			
		年 月					円			
	増築	増 築 年 月	増 築 の 概 要			増築面積	増 築 の 金 額 (円)			
		年 月				㎡	円			
り 災 前 の 建 物 詳 細										
5	建物の用途	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積					
					㎡					
建 物 ・ 収 容 物 以 外 の り 災 状 況										
6	り災物件名	損害区分	数量又は面積			経過年数				
			焼・消・爆				年			
			焼・消・爆				年			
7	火災保険	契約会社名			契約金額 (万円)			加入年月日		
					万円					
					万円					

不動産り災申告書記載要領

(1の欄)

「り災物件と申告者との関係」欄は当てはまるものを○で囲んでください。

(3の欄)

- 1 「記録・推定」欄は、記録（帳簿、契約書等）によるものか、推定によるものかについて、該当するものを○で囲んでください。
- 2 金額は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた3.3㎡当たりの金額と総金額を円単位で記入してください。

(4の欄)

- 1 建物を取得してから大規模な建物の修繕、改築、又は増築があった場合に記入してください。
- 2 「修繕・改築」欄及び「増築」欄は、修繕等の年月、箇所及び当該修繕等にかかった金額を記入してください。

(増築の例)

- ・増築年月 平成3年8月
- ・増築の概要 2階住居部分
- ・増築面積 20㎡
- ・増築の金額（円） 2,400,000円

(5の欄)

り災前の建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数及び延べ面積を記入してください。

(例)

- ・建物の用途 住宅
- ・屋根 日本瓦
- ・外壁 モルタル
- ・階数 2階建
- ・延べ面積 130㎡

(6の欄)

- 1 建物、収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 「損害区分」の欄は、該当するものを○で囲んでください。
 - (1)焼 火災によって焼けたもの、熱によって破損したもの等
 - (2)消 消火活動によって受けた水損、破損、汚損等（運搬中の破損等含む。）
 - (3)爆 爆発により破損したもの等

(7の欄)

火災保険の加入状況を記入してください。契約会社が複数ある場合は、全て記入してください。

(備考)

- 1 この申告書は、法第34条の規定により提出を求めるもので、提出しない場合又は虚偽の申告をした場合は、同法第44条の規定により処罰されます。
- 2 この申告書は、速やかに提出してください。
- 3 この申告書で不明な点等ありましたら、下記まで連絡してください。

部署名
連絡先